

評価対象年度	平成26年度	施策評価シート(震災復興用)	政策	2	施策	1
施策名	1 安心できる地域医療の確保		施策担当部局	保健福祉部		
「宮城県震災復興計画」における体系	政策名	2 保健・医療・福祉提供体制の回復 【保健・医療・福祉】	評価担当部局 (作成担当課室)	保健福祉部 (医療整備課)		

施策の方向  〔宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画〕の行動方針	①被災市町村の健康づくり施策の支援 ◇ 被災住民の健康状況の把握、健康の保持増進等のため、市町村などと連携し、被災者の健康調査、看護職員による健康相談、歯科医師等による歯科保健相談、栄養士による食生活支援、リハビリテーション専門職による運動指導等の支援を行う。
	②被災医療機関等の再整備の推進 ◇ 被災市町村の新たなまちづくりの方向性と整合を図りながら、病院、診療所、薬局、訪問看護ステーションの復旧・復興に向けた取組を着実に推進し、安心して医療を受けられる体制整備を推進する。
	③保健・医療・福祉連携の推進 ◇ 医療資源の不足を医療機関の相互協力、東北大大学との連携などによりカバーできる状況を整備し、ライフサイクルに応じた切れ目のない医療提供体制を推進するため、ICT(情報通信技術)を活用した医療福祉情報ネットワークシステムを構築し、病院、診療所、福祉施設、在宅サービス事業者等の連携強化や情報共有等を推進する。

決算(見込)額 (千円)	年度	平成26年度 (決算(見込)額)	平成27年度 (決算(見込)額)	平成28年度 (決算(見込)額)	平成29年度 (決算(見込)額)
	県事業費	6,510,030	-	-	-

※決算(見込)額は再掲分含む

目標指標等	■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」	B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」		
	■達成率(%) フロー型の指標:実績値/目標値 ストック型の指標:(実績値-初期値)/(目標値-初期値) 目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値-実績値)/(初期値-目標値)			
初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)
1 被災した病院、有床診療所の復旧箇所数(箇所)[累計]	0箇所 (0%) (平成22年度)	108箇所 (100%) (平成26年度)	107箇所 (99.1%) (平成26年度)	B 99.1%
2 災害拠点病院の耐震化完了数(箇所)[累計] (分野(7)①に再掲)	12箇所 (80%) (平成22年度)	15箇所 (100%) (平成26年度)	14箇所 (93.3%) (平成26年度)	C 66.7%
3 県の施策による地域医療連携システムへの接続施設数(施設)[累計]	0施設 (平成22年度)	290施設 (平成26年度)	330施設 (平成26年度)	A 113.8%
				108箇所 (100%) (平成29年度)
				15箇所 (100%) (平成29年度)
				2,100施設 (平成29年度)

平成26年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	45.7%	22.6%	II

## ※満足群・不満群の割合による区分

- I :満足群の割合50%以上  
かつ不満群の割合25%未満
- II :「I」及び「III」以外
- III :満足群の割合50%未満  
かつ不満群の割合25%以上

## ■ 施策評価（原案）

## 概ね順調

### 評価の理由

目標指標等	<ul style="list-style-type: none"><li>一つ目の指標「被災した病院、有床診療所の復旧箇所数」については、全壊あるいは一部損壊として災害復旧補助金の活用の申し出があった施設（病院・有床診療所）を母数としているが、申し出のあった施設が再開を断念したことにより、対象施設数は108施設となつた。なお、平成26年度中に再開した医療機関は無かつたが、沿岸被災市町各地域のまちづくり計画が進み、建設事業に着手を開始した1病院を除く、107医療機関が復旧再開を果たしており、当面の医療機能は確保できている状況にある。</li><li>二つ目の指標「災害拠点病院の耐震化完了数」では、県内の災害拠点病院は従前から耐震化を進めており、3病院が完了に至らない状況で被災したが、平成26年度までに2病院が耐震化を完了しており、残りの1病院についても平成29年度中に完了予定であるなど、着実に進捗している。</li><li>三つ目の指標「県の施策による地域医療連携システムへの接続施設数」は、平成25年7月に沿岸部の石巻、気仙沼圏域において運用が開始され、平成26年度には仙台圏域、平成27年度には全県での運用開始し、平成26年度末時点では330施設が接続している。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>平成26年県民意識調査では、高重視群が77.5%と比較的高い一方で、満足群が45.7%と半数を下回っていることから、県民の期待度は高く、より一層、施策の充実が求められているといえる。</li><li>満足群・不満群の割合による区分は「II」に該当する。</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>平成27年3月1日現在における被災地域の医療機関の再開状況は石巻地域で89.4%、気仙沼地域で76.8%であるが、今後再開を目指す医療機関の施設・設備の復旧に向けた支援が必要であることから、第2期地域医療再生計画、地域医療復興計画及び第2期地域医療復興計画を策定し、関連する諸事業を実施している。</li><li>一方仮設住宅や民間賃貸に入居している被災住民は、平成27年3月現在で約6.6万人となっており、長期に渡り居住地を離れた避難生活の中でさまざまな課題に直面しており、被災者が県内どこに住んでいても必要な保健福祉サービスの提供が求められている。</li></ul>
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"><li>①被災市町村の健康づくり施策の支援における健康支援事業では、健康相談等に要する経費を10市町に補助したほか、食生活支援事業及び被災者特別検診等事業など全ての事業で成果が出ており、順調に推移していると考えられる。</li><li>②被災医療機関等の再整備の推進では、医療施設災害復旧事業が着実に進んでおり、被災地における当面の医療機能は確保されている。また、他県からの支援受入に係る経費等を助成する医師等医療系人材確保・養成事業など、実施したほとんどの事業で成果があり、概ね順調に推移していると考えられる。</li><li>③保健・医療・福祉連携の推進では、ICT（情報通信技術）を活用した医療連携構築事業において、平成25年7月に石巻・気仙沼圏域において運用を開始し、平成26年度は仙台圏域の運用が開始されることから、接続施設数が目標を上回るなど順調に推移していると考えられる。</li></ul>

※ 評価の視点：目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

### 施策を推進する上で課題と対応方針（原案）

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"><li>公的医療機関と地域医療の両輪となる民間の病院や診療所の再開・継続には、地域全体の復興が不可欠であるが、各地域の本格的な復興にはまだ時間を要するものと考えられ、この間の医療・福祉の提供体制の在り方の検討が必要である。例えば在宅医療の推進など復興途上の地域の実情にあつた地域医療の提供・確保を考える必要がある。</li><li>こうした地域の不利な面を補完していく上でも、平成26年度までに構築されたICTによる医療福祉情報ネットワークの利用施設数の拡大を図る必要がある。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>各地域の拠点となる病院の復旧・復興に向けた調整を着実に推進し、安心して医療の受けられる体制を各地域において整備する。</li><li>被災者の健康調査結果をはじめ被災者の健康状況や支援ニーズの把握につとめ、市町の保健活動を県として支援していく。</li><li>医療情報ネットワークシステムの展開を進め、県内全域において、医療機関の相互協力、東北大大学との連携等により医療資源の不足をカバーできる状況を整備する。また、ネットワーク構築後においては、加入医療機関の拡大による安定的な収入の確保など、運営主体の自立的かつ持続的な運営の確立を支援するとともに、地域医療の課題解決に向けた利活用について、関係機関と協議を行っていく。</li></ul>

評価対象年度

平成26年度

政策

2

施策

1

## 目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値／目標値 ストック型の指標:(実績値－初期値)／(目標値－初期値)  
目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値－実績値)／(初期値－目標値)

	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29	120	80	40	0				
				H26	H27	H28	H29								
1	被災した病院、有床診療所の復旧箇所数(箇所) [累計] [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H26	H27	H28	H29	108箇所 (100.0%)	108箇所 (100.0%)	108箇所 (100.0%)	108箇所 (100.0%)				
	目標値	-	-	108箇所 (100.0%)	108箇所 (100.0%)	108箇所 (100.0%)	108箇所 (100.0%)								
	実績値	0箇所 (0.0%)	107箇所 (99.1%)	-	-	-	-								
	達成率	-	99.1%	-	-	-	-								
目標値の設定根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療供給体制の整備に関しては、復旧・復興の進捗状況の指標として、被災した病院及び有床診療所の復旧率を目標指標として設定する。</li> <li>被災施設数は、全壊あるいは一部損壊として災害復旧補助金の活用の申し出があった施設(病院・有床診療所)のうち再開した医療機関の割合</li> </ul>														
	実績値の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>108施設中、107施設が復旧・再開を果たしている。残り1施設については、資材高騰のため工期に遅れが出ていたが、平成28年度に竣工する予定である。</li> </ul>													
2	全国平均値や近隣他県等との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>-</li> </ul>													
	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H26	H27	H28	H29	15箇所 (100.0%)	15箇所 (100.0%)	15箇所 (100.0%)	15箇所 (100.0%)				
	災害拠点病院の耐震化完了数(箇所)[累計] [ストック型の指標]	指標測定年度	H22	H26	H27	H28	H29								
	目標値	-	-	15箇所 (100.0%)	15箇所 (100.0%)	15箇所 (100.0%)	15箇所 (100.0%)								
	実績値	12箇所 (80.0%)	14箇所 (93.3%)	-	-	-	-								
目標値の設定根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内における災害拠点病院の耐震化は、平成22年度までに3病院を残し完了した。このため、平成29年までに、これらの3か所の病院の耐震化を目標として設定することとした。</li> </ul>														
	実績値の分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮城県沖地震に備え、県内の災害拠点病院は耐震化が進んできたが、3病院については、完了に至らない状況で被災し、平成23年度中は、復旧対応に終始したため、大きな進捗は見られなかったが、その後平成26年度までに2病院の耐震化が完了した。</li> </ul>													
全国平均値や近隣他県等との比較	<ul style="list-style-type: none"> <li>-</li> </ul>														

評価対象年度

平成26年度

政策

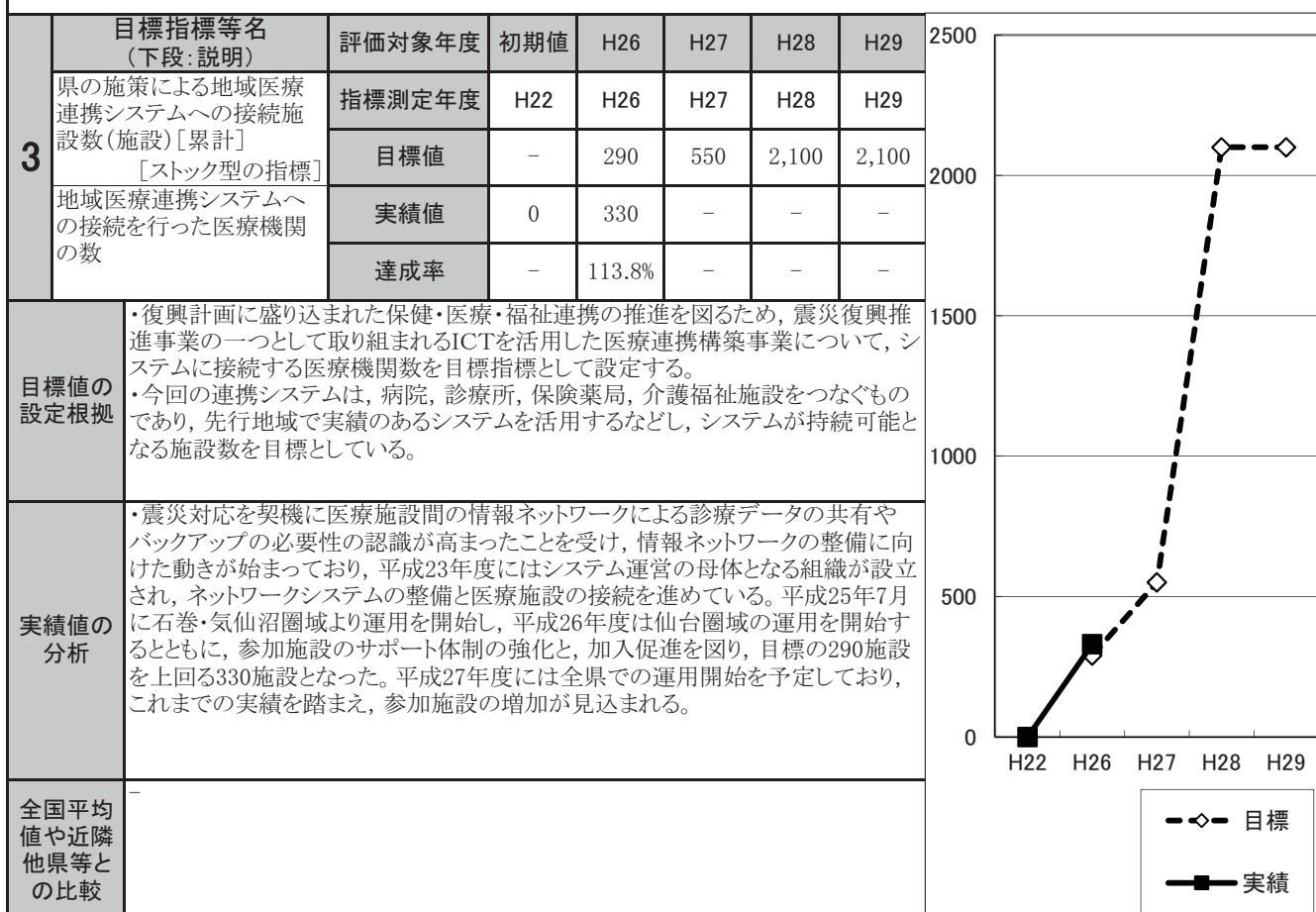
2

施策

1

## 目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型の指標:実績値／目標値 ストック型の指標:(実績値－初期値)／(目標値－初期値)  
目標値を下回ることを目標とする指標:(初期値－実績値)／(初期値－目標値)



評価対象年度

平成26年度

政策

2

施策

1

## 県民意識調査結果

調査実施年度 (調査名称)			平成24年度 (平成24年県民意識調査)		平成25年度 (平成25年県民意識調査)		平成26年度 (平成26年県民意識調査)						
県 全 体	この 施策に に対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	51.4%	84.7%	47.1%	81.7%	42.2%	77.5%				
		やや重要		33.3%		34.6%		35.3% <th data-kind="ghost"></th>					
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	5.7%	6.5%	5.8%	6.7%	7.5%					
		重要ではない		0.8%		0.9%		1.9%					
	分からない		8.9%		11.6%		13.1%						
	調査回答者数		1,927		2,044		1,716						
	この 施策に に対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	8.6%	50.5%	8.2%	47.4%	8.6%	45.7%				
		やや満足		41.9%		39.2%		37.1%					
		やや不満	不満群 の割合	17.9%	24.2%	19.3%	25.2%	17.0%					
		不 満		6.3%		5.9%		5.6%					
		分からない		25.3%		27.5%		31.8%					
		調査回答者数		1,906		2,009		1,678					
沿 岸 部	この 施策に に対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	50.6%	84.3%	47.8%	82.5%	39.5%	76.2%				
		やや重要		33.7%		34.7%		36.7%					
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	6.5%	7.3%	4.7%	5.7%	9.1%					
		重要ではない		0.8%		1.0%		2.5%					
	分からない		8.5%		11.8%		12.2%						
	調査回答者数		781		822		673						
	この 施策に に対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	9.0%	50.8%	9.1%	49.3%	9.8%	48.5%				
		やや満足		41.8%		40.2%		38.7%					
		やや不満	不満群 の割合	17.8%	24.1%	19.0%	24.9%	14.9%					
		不 満		6.3%		5.9%		6.3%					
		分からない		25.1%		25.8%		30.3%					
		調査回答者数		777		814		653					
内 陸 部	この 施策に に対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	51.6%	84.8%	46.3%	81.3%	43.8%	78.5%				
		やや重要		33.2%		35.0%		34.7%					
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	5.1%	6.0%	6.5%	7.3%	6.6%					
		重要ではない		0.9%		0.8%		1.5%					
	分からない		9.2%		11.4%		13.4%						
	調査回答者数		1,139		1,187		1,012						
	この 施策に に対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	8.3%	50.3%	7.6%	46.3%	7.8%	43.8%				
		やや満足		42.0%		38.7%		36.0%					
		やや不満	不満群 の割合	18.0%	24.2%	19.2%	25.1%	18.3%					
		不 満		6.2%		5.9%		5.2%					
		分からない		25.5%		28.6%		32.7%					
		調査回答者数		1,122		1,165		993					

※ 沿岸部：沿岸15市町  
内陸部：沿岸部以外の市町村

評価対象年度	平成26年度
--------	--------

政策	2	施策	1
----	---	----	---

## 宮城県震災復興推進事業

評価番号	事業番号	事業名	平成26年度決算見込額(千円)	事業の状況							
				事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
1	①01	被災者健康支援会議事業	1,314	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
2	①02	保健福祉部 保健福祉総務課 関連:取組20	52,908	妥当	成果があつた	効率的	維持	1,314	-	-	-
				事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
3	①03	健康支援事業	12,470	応急仮設住宅、在宅等の被災住民に対して、健康状態の悪化を防止するとともに健康不安の解消を図るために、看護職員による健康相談、訪問指導等を支援する。				・被災市町が行う保健師等による仮設住宅集会所等での健康相談や仮設住宅入居者等の家庭訪問等被災者健康支援に要する経費を8市町に補助した。(まちの保健室含む。)			
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
4	①04	保健福祉部 健康推進課 関連:取組20	2,612	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29
				妥当	ある程度成果があつた	概ね効率的	維持	12,470	-	-	-
5	①05	リハビリテーション支援事業	33,000	事業概要				平成26年度の実施状況・成果			
				生活不活発病や障害の予防、住環境の改善、福祉用具の調整等を行うため、リハビリテーション専門職等による相談・指導を支援します。				・集団運動指導 626日 ・リハビリテーション相談会 277日 ・戸別訪問 511日 ・市町の承認を受けた法人等に対して、リハビリテーション専門職の人事費ほか事業費の補助を実施した。 ・被災市町の実施する健康づくり事業や介護予防事業との連携を図りつつ、継続的な実施が求められている。			
緊急	保健福祉部 障害福祉課 関連:取組19	リハビリテーション支援事業	33,000	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				妥当	成果があつた	概ね効率的	維持	H26	H27	H28	H29

			事業概要	平成26年度の実施状況・成果									
				<p>特定健診・保健指導の対象になっていない18歳以上39歳以下の県民が自らの健康状態を把握するとともに、健康状態の悪化を早期に発見・予防することができるよう、市町村が実施する基本健診・詳細健診の経費について補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沿岸の15市町で実施 受診者数 基本健診 11,148人 詳細健診 10,869人</li> </ul>									
6	① 06	被災者特別健診等事業	89,998	事業の分析結果									
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性						
				妥当	成果があつた	効率的	拡充	H26	H27	H28	H29		
7	① 07	特定健康診査等追加健診支援事業	67,613	事業概要				平成26年度の実施状況・成果					
				<p>震災後の生活の変化に伴う県民の健康状態悪化を早期に発見するために、市町村が実施する腎機能検査等の追加健診の経費について補助する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>34市町村においてクレアチニン検査等を実施し、その経費について支援した。</li> </ul>							
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
8	① 08	保健福祉部 健康推進課	ビジョン 関連:取組20	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29		
				妥当	成果があつた	効率的	維持	67,613	-	-	-		
				事業概要				平成26年度の実施状況・成果					
9	① 09	保健福祉部 子育て支援課	ビジョン 関連:取組13	<p>児童の一層の安全・安心確保の観点から、児童福祉施設等で提供される給食における放射性物質の有無について把握するため、給食一食分全体について事後検査を実施する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>検査実施(補助対象)施設 県有施設 3施設 市町村施設 1施設</li> </ul>							
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
				概ね妥当	ある程度成果があつた	概ね効率的	維持	H26	H27	H28	H29		
10	② 01	薬局整備事業	30,000	事業概要				平成26年度の実施状況・成果					
				<p>震災により甚大な被害を受けた被災地における地域医療の復興のため、仮設住宅近辺における医療機関の整備に合わせて薬局の整備を支援する。また、地域の復興計画に沿って、各地域に拠点薬局の整備を支援し、適切な医薬品の供給体制を図る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>実施主体となる県薬剤師会における石巻地域及び気仙沼地域の計画等の確認及び調整を実施</li> </ul>							
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
11	② 02	保健福祉部 薬務課	ビジョン 関連:取組19	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29		
				概ね妥当	ある程度成果があつた	概ね効率的	拡充	30,000	-	-	-		
				事業概要				平成26年度の実施状況・成果					
11	② 02	医療施設耐震化事業	246,912	<p>災害時の医療体制を確保するため、災害拠点病院等の耐震化(耐震診断及び耐震性を欠く既存施設の建て替え・補強)の費用を補助する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>精神二次救急医療機関である青葉病院に対して建て替えに係る費用を補助した。</li> </ul>							
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29		
緊急	② 02	保健福祉部 医療整備課	7①④ 再掲 ビジョン 取組31	妥当	成果があつた	効率的	維持	246,912	-	-	-		

事業番号	課題区分	事業名	実績額(千円)	事業概要				平成26年度の実施状況・成果									
				事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)									
年度	実施部門	実施課	実施年	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H26	H27	H28	H29						
				妥当	成果があつた	効率的	維持										
12	緊急	②03 大規模災害時医療救護体制整備事業	1,274	大規模災害に備えるため、救命救急センター等における自家発電設備の強化、DMATの養成と政府総合防災訓練への参加支援等を行う。				・九州で行われた政府総合防災訓練(広域医療搬送訓練)における当県のDMATインストラクターの派遣経費を補助したほか、各種災害関連会議を実施し、大規模災害時医療救護体制の強化に努めた。									
		保健福祉部 医療整備課	7①④ 再掲 ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)									
13	緊急	②04 救急医療情報センター運営事業	88,407	事業概要				平成26年度の実施状況・成果									
		保健福祉部 医療整備課	7①④に再掲 ビジョン 関連:取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)									
14	緊急	②05 精神障害者救急医療体制整備事業	101,953	事業概要				平成26年度の実施状況・成果									
		保健福祉部 障害福祉課	ビジョン 取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)									
15	緊急	②06 宮城県ドクターバンク事業	1,411	事業概要				平成26年度の実施状況・成果									
		保健福祉部 医療整備課	ビジョン 取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)									
16		②07 看護師確保緊急対策事業	74,062	事業概要				平成26年度の実施状況・成果									
		保健福祉部 医療整備課	ビジョン 取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)									

	② 08	気仙沼地域医療施設復興事業	835,475	事業概要				平成26年度の実施状況・成果				
				地域医療復興計画に基づく気仙沼地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行う。				・気仙沼市立病院の移転新築及び医師宿舎の新築に係る補助を行った。 ・公立志津川病院及び南三陸町歌津保健センターの新築に係る補助を行った。				
17	保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連:取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	妥当	成果があつた	効率的	維持	H26	H27
18	② 09	石巻地域医療施設復興事業	1,317,278	事業概要				平成26年度の実施状況・成果				
				地域医療復興計画に基づく石巻地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行う。				・石巻市立病院、夜間急患センター、雄勝診療所の新築に係る補助を行った。 ・石巻港湾病院の移転新築に係る補助を行った。				
19	保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連:取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	妥当	成果があつた	効率的	維持	H26	H27
20	② 10	仙台地域医療施設復興事業	286,890	事業概要				平成26年度の実施状況・成果				
				地域医療復興計画に基づく仙台地域における医療施設等の新築への補助など復興の取組に対する支援を行う。				・東北大学病院、坂総合病院、名取市休日夜間急患センターの建て替えに係る補助を行った。 ・眼科医療支援車両の運営に係る補助を行った。				
21	保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連:取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	妥当	成果があつた	効率的	維持	H26	H27
21	② 11	人材確保・養成事業	535,500	事業概要				平成26年度の実施状況・成果				
				地域医療復興計画に基づき医療人材確保に向けた各種対策を実施する。				・全壊自治体病院(石巻市立病院・公立志津川病院)の医療従事者流出防止に対する支援を行った。 ・石巻市夜間急患センターの県外からの医師派遣受入に対する助成及び大谷・歌津仮設歯科診療所の運営費の一部支援を行った。				
21	保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連:取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	妥当	成果があつた	効率的	維持	H26	H27
21	② 12	医学部設置支援事業	6,744	事業概要				平成26年度の実施状況・成果				
				東北地方の自治体病院への就業を志す臨床医の養成に重点を置いた新たな医学部の実現に向けて、文部科学省や大学、東北各県等との調整等を行うことにより、県内の自治体病院・診療所に勤務する医師を確保する。				・県内への医学部新設の実現に向けて県立医学部設置に向けた検討を行ったほか、構想応募を予定していた大学や国、東北各県等との意見交換などを行った。				
21	保健福祉部 医師確保対策室	ビジョン 取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)					
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	妥当	成果があつた	概ね効率的	維持	H26	H27

22	③ 01	ICT(情報通信 技術)を活用し た医療連携構築 事業	2,689,921	事業概要				平成26年度の実施状況・成果				
				医療従事者の不足が懸念される中、切れ 目のない医療の提供体制を推進するため、 ICTを活用した地域医療連携システムを構 築することにより、病院、診療所、福祉施 設、在宅介護事業者等の連携強化・情報 共有を図り、子どもから高齢者までだれも が、県内どこでも安心して医療が受けられ る体制を構築する。				・平成25年7月から、石巻・気仙沼圏域における ネットワークシステムが運用開始となり、平成26 年度は、仙台圏域においてもネットワークシステ ムを運用開始している。 ・さらに平成26年度には、仙南、大崎、栗原、登 米圏域を構築し、全県でのネットワークシステム の構築を完了している。				
保健福祉部 医療整備課	ビジョン 関連:取組19	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)						
		①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	妥当	成果が あつた	概ね効率 的	維持	H26	H27	H28
決算(見込)額計		2,689,921										
決算(見込)額計(再掲分除き)		6,208,936										